2024[illegible]5[illegible]12[illegible]
[illegible]4[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]1[illegible]*[illegible]

[illegible]4[illegible]

[illegible] Nature Metabolism

[illegible]T[illegible]CD8+[illegible]

[illegible]

Glutarate regulates T cell metabolism and anti-tumour immunity

[illegible]

[illegible]

[illegible]↓

https://www.nature.com/articles/s42255-023-00855-2

[illegible]Nature Metabolism

[illegible]CD8T[illegible]

[illegible]

Asparagine restriction enhances CD8+ T cell metabolic fitness

and antitumoral functionality through an NRF2-dependent stress response

一方で、CD8T活性化直後のアスパラギン制限は機能向上にはつながらないとのこと。

論文リンクはこちら↓

https://www.nature.com/articles/s42255-023-00856-1

トランス脂肪酸がむしろ抗腫瘍に寄与する？Nature

トランス脂肪酸がCD8T細胞のGPR43へ作用して短鎖脂肪酸由来の活性を抑え、抗腫瘍免疫を活性化させるという論文。

タイトルは

Trans-vaccenic acid reprograms $CD8^+$ T cells and anti-tumour immunity

論文では動物とヒト由来細胞の結果がメインで、今後続報が出てくるか気になります。栄養学で基本悪者とされるトランス脂肪酸でも、その生理活性は多様のようです。

論文リンクはこちら↓

https://www.nature.com/articles/s41586-023-06749-3

ビタミンDがガン免疫の有効性向上に寄与する？Science

ビタミンDがガン免疫の有効性向上に寄与していることを示した論文。

タイトルは

Vitamin D regulates microbiome-dependent cancer immunity

ヒトのおいてもビタミンDとガン免疫療法の予後に関連が見られ、この作用には腸内細菌叢の働きが重要であるとのこと。

論文リンクはこちら↓

https://www.science.org/doi/10.1126/science.adh7954

終わりに

栄養成分とガン免疫に関する基礎研究を4本紹介しましたが、実際にヒトでどうかはまだ不明な点が多いと思います。

特定の栄養成分でガンに対する免疫が大きく変わるわけではないと思いますので、その点ご注意ください。

それも踏まえて、今後も栄養成分とガン免疫との関連は紹介していきたいと思います。

トップへ戻る

論文紹介へ戻る